

謹賀新年

発行者／京北商工会（広報委員会）
〒601-0251 京都市右京区京北周山町
TEL 075-852-0348
FAX 075-852-1173
<https://keihoku.kyoto-fsci.or.jp>

ばいぶ第74号 令和7年1月1日発行

ばいぶ

KEIHOKU
2025

年頭挨拶

京北商工会会長 井本正成

新年、明けましておめでとうございます。
二〇二五年新春を御家族お揃いで迎えられた事、謹んでお慶び申し上げます。
昨年五月より、京北商工会の会長に就任いたしました井本でございます。

京北地域の皆様方には日頃より何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年令和七年の干支は、乙（きのと）巳（み）年で「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。

さて、世界的な地政学の緊張が高まる中、国内においては自然災害や物価の高騰の影響を受けるだけでなく、ビジネスのDX化が叫ばれ、目まぐるしく時代が変わり行く昨今です。

当会では、会員各位の事業を支え、多様なニーズと地域の多岐にわたる課題に対し、関係機関との連携を図り、地域を豊かに元気にする為、様々な支援活動を実施します。また訪問介護事業を通じて地域福祉の向上にも寄与して参ります。

皆様のご指導ご協力を頂き、地域の活性化を目指して参りますので、今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



青年部だより

年頭のあいさつ

京北の皆様、新年あけましておめでとうございます。

京北商工会青年部の部長を務めております、仲井亮文（なかいあきふみ）と申します。私たちは、「自社のため、仲間のため、地域のため」に何ができるのかを常に意識して活動に取り組んでいます。

さて、今年度は部員から発案された「古道の復活」に取り組む中で、京北の探検家と出会い、また見ぬ「廃寺」を探しに行きました。廃寺探索の当日は、まるで小学生の頃に戻ったようにワクワクした気持ちで山の中へ入りました。探索の結果、その日は見つけることが出来ず再度挑戦しましたが、目的の廃寺はまだまだ見つけれられていません。しかし、この企画を通じて、これまで関わる機会が少なかった地域住民の方々とコミュニケーションが生まれ、新しい京北の一面を知ることができました。

また、青年部活動や地域振興について自分の思いを発表する主張発表大会に、安井源太副部長が京北商工会青年部の代表として参加しました。中部地区予選を勝ち抜き、七月三〇日に行われた京都大会でも素晴らしい発表を披露、見事優秀賞を受賞することができま

した。部員の士気が高まり、近畿大会や全国大会への参加も増え、部員間の親睦を大いに深めることができました。私自身も全国の代表者の発表を間近に見て、「価値とは与えられるものではなく、自ら創造するもの」だと改めて感じました。

来年度は役員改選を迎え、新たな体制でスタートします。京北の未来が今より明るいものになるよう、青年部一同、邁進してまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。

京北商工会青年部 部長 仲井亮文



9月6日(金)・10月2日(水)

古道復活プロジェクト

京北の探検家と共に廃寺探索へ！
発見には至りませんでした、
ワクワク体験になりました！



11月3日(日・祝)

京北ふるさとまつり

今年はパワーアップしたコルク銃で、
去年より多くの方に
楽しんでいただきました！



11月27日(水)～28日(木)

商工会青年部全国大会

全国から集まった青年部員に
刺激をうけ、モチベーションアップに
繋がりました！

女性部だより

年頭のあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
女性部では、今年度も二年間のスローガンである「マルシェで繋がろう京北」のもと、活動を展開しております。昨年に続き十一月に開催された「鯖寿司大博覧会&京北マルシェ」では、京北ふるまい鍋の提供と森のコーヒーの販売で出店いたしました。ふるまい鍋には多くのお客様にご来場いただき、長い行列ができるほどの盛況ぶり、皆さまに喜んでいただくことができました。イベントを通じて部員の交流も深まり、楽しいひとときを過ごすことができました。このイベントでは能登半島地震や豪雨災害への募金活動も実施し、皆さまから四千九百円の募金をいただきました。女性部からの寄付金と合わせて一万円を寄付しましたことをご報告するとともに、温かいご支援をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

また、令和三年度に女性部で作成した「京北グルメマップ」が好評をいただいております。このたび内容の見直しを行い、春までに再発行する予定です。自然豊かな京北には、新鮮で美味しい農作物や山菜、きのこなどの豊富な食材があり、それらを活かしたメニューを提供する飲食店やカフェの情報も掲載してお



京北商工会女性部 部長 井口真美

ります。このマップを通じ、豊かな食を含めた京北の魅力を全国に発信できることを願っております。

来年度は新体制での女性部活動が始まります。新しい風が吹き込む活動にどうぞご期待ください。本年も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



12月2日(月) 晴れ

大人気企画 寄せ植え交流会

9名が商工会ペーに集い、花とおしゅべりて、明るく楽しい時間となりました。華やかな寄せ植えが完成し、新年を迎える準備が整いました。



11月10日(日) 快晴

鯖寿司大博覧会&京北マルシェ出店

2年連続、チームワークが更によくなったの振る舞い鍋。今年は「募金鍋」ということで、美味しいりのお声とともに、多くの方の温かな気持ちで頂いた能登半島募金は4,900円となりました。コーヒー、地紅茶の販売も好評で、楽しい1日となりました。

新生

京北サンボーイ

～京北少年野球史に新たな時代の幕開け～ 始動!

「ナイスバッティング!」「ツーアウトー!」

聞こえてくる子ども達の元気な声。ボールがバットに当たる心地よい音。

週末、京都京北小中学校のグラウンドでは、少年野球チーム『京北サンボーイ』のメンバーが白球を追いかけて走り回っています。今年から新たな体制でスタートしたチームの練習場を訪れ、変化の背景や今後の展望について取材を行いました。そこには、野球を通じて笑顔と挑戦を重ねる子どもたちの生き生きとした表情がありました。

倉田 龍聖くん

現役野球少年少女に突撃インタビュー



Q 野球を始めたきっかけは？

- A
- ① 学校で野球をして遊ぶことが多くて、授業中に突然「少年野球入ろう!」と思った。
 - ② 野球をやっている友達に誘われたから。

Q 野球をしていて楽しかったことは？

- A
- ① 試合でよいプレーができたときが楽しい。
 - ② 練習を重ねることです。少しずつうまくなれていると感じたとき。
 - ③ 夏の合宿や川遊びなどのイベントも楽しい。

Q 野球を通じて勉強になったことやよかったことは？

- A
- ① 声掛けや挨拶、チームプレーの大切さを教えてもらった。
 - ② 新しい友達もたくさんできたし、チームメイトとは親友になった。

Q 入団を考えている人や興味ある人へメッセージ

- A
- ① 一緒に野球する仲間は多い方が絶対いいので、どんどん入ってきてほしいです!
 - ② 友達も増えるし、体力もつくから入団待ってます!

野球少年少女
大募集!!

代表から京北地域の皆様へ

新年あけましておめでとうございます。チーム代表を務めます、人見真一朗です。
今年の1月より、これまでの学童野球クラブに新たに中等部を加えた「新生・京北サンボーイ」を立ち上げました。野球というスポーツを通じて、喜びや相手を思いやる心、そして自ら学び、考える力を子供たちに感じてほしいという思いでチーム運営を行っております。将来的には京北サンボーイの子供たちがそれぞれのステージで元気にプレーすることで京北地域の活性化にもつながるようにしていきたいと思っております。ご父兄の皆様、まだまだ可能性を大いに秘めた子供たちです。グラウンドで成長する子供たちの姿と一緒に見届けませんか？そして野球に興味のある子供たちへ

一緒に「野球やろうぜ!」



井川 翼くん

藤原 晴馬くん

人見 月葉さん

松原 ひまりさん



■小学生から中学生までが対象に！！

いったい何が「新生」なのでしょう？それは対象学年の拡充です。小学生までだったメンバーを中学生まで広げることにより、より高いレベルのプレーを間近に見ることができ、チーム力の底上げが期待されます。中学生にとっては、他の部活動の合間に参加し一緒に汗を流すことで、メンバー一人ひとりの成長へつなげていくことができると思います。これらの取り組みを通じて、少年野球人口の増加に寄与すると考えられます。

■野球がつなぐ人と地域の絆

ゲームやインターネットが当たり前の現代社会において、外で思いっきり走り回って汗を流すことができる環境は大変貴重な空間になっています。野球を通じて、子どもと大人、地域とのコミュニケーションを密にし、京北地域の活性化や町おこしに貢献してきた京北少年野球の伝統を、これからも『京北サンボーイ』が紡いでいってくれることでしょう。OB や野球が好きな大人たちも是非来てください。コーチも募集中！一緒に楽しみましょう！！

■活動は京北地域がメインに！ 負担が減って保護者も楽しめます！！

野球クラブは負担が大きいイメージから、保護者から入部を敬遠されがちな部分があります。京北サンボーイでも数年前までは大変な部分があったそうです。ですが、このままではチームを存続させることができない、この状況を変えていこう、と保護者の中で検討を重ねられました。試合の送迎を共同で行ったり、練習の当番などを減らしたりすることで、以前より負担がとてもなくなくなったそうです。また、「新生・京北サンボーイ」は、京都市内ではなく京北地域での活動がメインになります。メンバーや保護者、チームに関わる全ての人にとって、より気軽に、より身近に、野球に取り組めるようになるでしょう。

～京北少年野球の歩み～

昭和57年、『弓削野球少年団』が発足し、京北少年野球チームの歴史が始まりました。平成14年には京北第一小学校に『京北ファースト少年野球クラブ』、京北第二小学校に『京北ダブルフェニックス』が発足。3チームが活動するまで盛んに成長しましたが、過疎化と少子高齢化のあおりを受け、少年野球人口も減少、平成24年に『京北少年野球クラブ』1チームへ統合されました。その後、平成30年から嵯峨野学区の『嵯峨野サンボーイ』と連合チームになり公式戦や練習をおこない、令和5年に正式合併し、『京北サンボーイ』としてスタートして現在に至ります。

問い合わせ先 事務局 倉田照満までお気軽にご連絡ください。

Tel: 090-9625-8630 Mail: terumichi.kurata@gmail.com
<https://my.prairie.cards/u/k.sunboys>



Instagramで日々の活動をアップしています！



より詳しい記事はこちら



事業所訪問

HARU + KEIHOKU produced by FPS.



撮影風景

HARU+KEIHOKU は、周山街道を西に入った山の手に佇む、カフェのような明るいハウススタジオです。

オーナーの藤木さんご夫妻は左京区でFUJIKI POWER STATION を経営されながら、自然豊かな生活環境を求めて京北に来られました。京北に移住されて地域の魅力を発信されている、カメラマンの藤木ナオミさんにお話を伺いました。

京北を移住の地に選ばれた理由を教えてください。

左京区の FUJIKI POWER STATION では、法人向けの商業広告写真や動画などを撮影しています。場所に縛られず仕事ができるので、自分たちが思い描く暮らし方にあった、静かで穏やかな京北を選びました。既知の住人が複数人いたこと、新しい移住者が多いことも理由の一つです。町おこしに力を入れている地域でもあるため、仕事や生活の今後に夢を感じました。地域の方と触れ合ううちに人や自然に魅力を感じ、地域に密着した開かれた写真スタジオを目指して、HARU+KEIHOKU を始めました。

HARU+KEIHOKUのアピールポイントを教えてください。

HARU は韓国語で“いちにち”との意味です。HARU+KEIHOKU は“京北のいちにちを大切に”という地域に密着した取り組みで、広告写真の制作、プロモーションビデオ制作、ドローン撮影に加えて、地域の皆様にもオープンに、家族写真、ワンちゃんの撮影などを行っています。スタジオは、京北のみなさまが大切にしている瞬間を美しく残したいとの思いから、平屋を自分たちの手でリノベーションしてつくりました。ウッドデッキ、色とりどりの花が咲く庭、鮮やかで可愛い色合いの屋内、レトロな家具など、どこを切り取っても絵になるスタジオなので、和やかに過ごす時間のなかで自然な動きや表情が撮影できます。

京北の方に向けてメッセージをお願いします。

京北には写真館がないと聞きました。写真館のように気張らず、ふらりとお散歩がてら遊びにきていただきたいです。近い将来は、京北らしさをいかしたワークショップなどを催す場にもしたいと思っています。特別な日の大切な瞬間も、なにげない日常のちいさな記念日も、あなたらしいナチュラルな写真で残しませんか？



HARU+KEIHOKU <https://haru2012.com>
〒601-0251 京都市右京区京北周山町上植代 6-1
Tel : 090-1025-4294 (藤木) Mail: fps@nifty.com